



令和6年度 GX人財育成アカデミー



GX人財育成アカデミー

※R6年度からの新規事業

参加事業者：市内事業者3社
※初回は制限なし
業種/役職：不問



STEP 01 知る

【第1回】
セミナー等による
基礎知識導入

STEP 02 測る

【第2回】
現在のCO2排出量を
算定・現状把握

STEP 03 減らす

【第3回・第4回・第5回】
CO2排出量の削減目
標・ゴールを設定し、アク
シヨンプランを検討・発表

自社で
実践へ

目的

- 人財を育成し市内事業者等による自主的な脱炭素経営への取組促進を図る
- 市内事業者等の産業競争力強化・企業価値向上を目指す。

STEP
01 知る

第1回：キックオフセミナー ※29名(19事業者等)が参加

開催日時

令和6年9月13日(金)
15:00～17:00
(事例紹介終了後名刺交換会)

開催場所

市民交流プラザ多目的ホール
(大手口センタービル3階)

キックオフ宣言 (15:00～15:10)

唐津市長 峰 達郎

GX人材育成アカデミーのキックオフとして、創設に向けた思い・目指している唐津の姿を宣言。

講演① (15:10～15:45)

「九州地域におけるCN及びGX推進に向けて」

講師：九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課

国内外を含めた情勢や動向、地域企業がCN/GXに取り組む必要性や支援策について講演。

講演② (15:45～16:30)

「省エネの進め方と省エネ診断事例」

講師：一般財団法人省エネルギーセンター

省エネに取り組む際のポイントや省エネ診断の受け方、省エネ診断による事例紹介など。

事例紹介 (16:30～16:45)

「無印良品唐津木造店舗における『ZEB』取組について」

講師：株式会社 MUJI HOUSE

国内初木造店舗でZEB認証を取得し、唐津市にOPENした無印良品唐津店の取組紹介。

峰市長による キックオフ宣言



九州経済産業局講演



(一財)省エネセンター講演



(株)MUJI HOUSE事例紹介



会場の様子

STEP 02 測る

第2回：現在のCO₂排出量を算定・現状把握

参加者：3社(4名)

運輸業(管理職2名)、建設業(管理職1名)、サービス業(経営者1名)

講義＋ディスカッション (15:00～17:00)

講師：一般社団法人 エネルギーマネジメント協会

- 省エネの取組に向けた自社の現状把握の手法、運用改善・設備更新の具体的事例、支援制度の紹介
- 参加者の現状踏まえたディスカッション

開催日時

令和6年10月18日(金)
15:00～17:00

開催場所

唐津市役所本庁舎6階
第4委員会室



STEP 03 減らす

第3回・第4回：ゴール設定とアクションプランの検討

参加者：3社(4名)

運輸業(管理職2名)、建設業(管理職1名)、サービス業(経営者1名)

第3回：ディスカッション

コーディネーター：飯塚 誠 氏(+市職員)

- 自社への脱炭素経営の落とし込み
- CO2削減目標・ゴールの設定

第4回：ディスカッション

コーディネーター：飯塚 誠 氏(+市職員)

- バックキャスト手法によるアクションプランの検討
- アクションプランの実践手法検討

開催日時

第3回:令和6年11月26日(火)
14:30~16:30

第4回:令和6年12月13日(金)
14:30~16:30

開催場所

市民交流プラザ第1会議室
(大手口センタービル3階)



STEP 03 減らす

第5回：各社プラン発表会

※**34名**(23事業者等)が参加

基調講演

(16:10～16:35)

「気候変動というメガトレンド ESGという産業政策
～脱炭素に取り組まなかった際の正直な話～」

講師：Brinc Japan株式会社 代表取締役 岡澤 恭弥 氏



開催日時

令和7年1月17日(金)

16:05～17:15

(終了後意見交換・名刺交換会)

開催場所

市民交流プラザ多目的ホール
(大手口センタービル3階)



アカデミー概要説明

(16:35～16:40)

- 事務局より「GX人財育成アカデミー」の概要や今年度の取組状況について説明。

各社発表

(16:40～16:55)

<発表者>

- 高田電機株式会社 ● 松浦通運株式会社 ● 合同会社BASE

総評

(16:55～17:10)

- Brinc Japan株式会社 ● 九州経済産業局エネルギー対策課

アカデミー終了後の各社展望

※あくまで参加者がアカデミーを通じて検討したものであり、社内コンセンサスが取れたものとは限りません。

高田電機株式会社

参加企業

01



現 状

平成30年(2018年)に「エコアクション21」の認証・登録を受け、建設工事の事業活動を通じて環境負荷低減に取り組んでいる。

事業所屋上と駐車場(カーポート)に出力60kWの太陽光発電設備を設置し、発電した電力は事業所の電力に活用。また、電気自動車(EV)で通勤する従業員のために、充電設備を設置している。

アカデミーを通じた今後の展望

各年の「エコアクション21」のCO2排出量削減目標は達成しているものの、近年削減実績が増加していないため、域内の優良事例となるよう自社としての取組の継続・強化を図っていく。具体的には、DXによる業務効率化や社用車のEV化を検討していく。

域内全体での脱炭素に向けた機運が醸成されれば、省エネ設備への更新工事の受注機会も増えると考えられるため、脱炭素分野の従業員の人財育成にも注力することで、この機会を企業成長に繋げたい。

会社名	高田電機株式会社
所在地	佐賀県唐津市二夕子3丁目2番51号
設立年月日	昭和29(1954)年10月
代表者	高田 武嗣
資本金	2,000万円
従業員数	35名(R6.4月時点)
主要事業	<ul style="list-style-type: none">●電気工事●管工事●消防施設工事



太陽光発電設備50kW
(ソーラーカーポート)



EV充電設備



太陽光発電設備10kW
(事務所屋上)

参加者の生声



取締役 管理部長
有尾 成草さん

今回のアカデミーを通じて脱炭素への取り組み方や方向性を学びました！
社内でも検討会などを行い、今後も共有していきたいと思っております！

松浦通運株式会社

参加企業

02



現 状

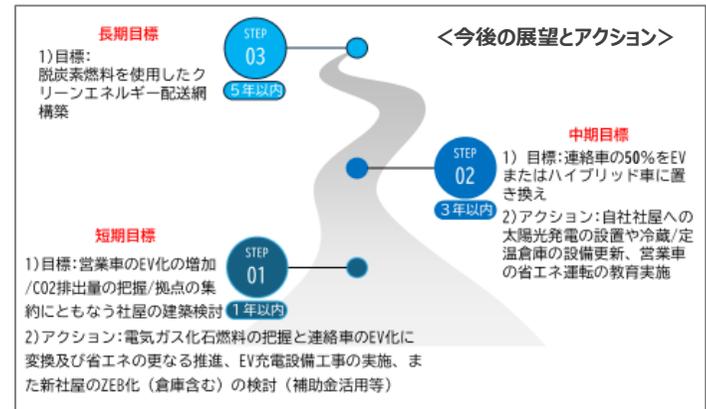
近年取引先から物流過程でのCO2排出量削減要請も出始めてきている。運送業はCO2排出量が多いため、ニーズへの対応・競争優位性確保のための脱炭素の取組と軽油以外の高い燃料コストとのバランスを取ることが、自社の経営課題と認識。

アカデミーを通じて

アカデミーを通じて、「CO2の見える化と社内共有」が重要性を認識したため、①社内車両及び事務所の化石燃料使用量の把握と効率的な管理方法の検討、②環境配慮型物流の実現に向けた調査・検討(環境負荷が少ない燃料転換の可能性調査など)にすぐさまアクションを起こした。

また、あくまで個人的なものではあるが、自社の短期・中期・長期の目標設定を検討できたので、社内共有しながら、具体的な取組に繋げていく。

会社名	松浦通運株式会社
所在地	佐賀県唐津市中瀬通10-37 (登記上:佐賀県唐津市紺屋町1691番地6)
設立年月日	昭和19(1944)年2月
代表者	馬渡 雅敏
資本金	5,000万円
従業員数	276名(R6.12月時点)
主要事業	● 一般貨物自動車運送業 ● 港湾運送業 ● 通関業(AEO認定) など



参加者の生声



唐津営業部 副部長
馬渡 康士さん

CO2や化石燃料、ガスなどの見える化のための調査手法を習得することができました！
CO2排出量削減に消極的な企業は淘汰されていくので食らいついていきたい！

合同会社BASE

参加企業

03



現 状

もともと介護施設だった建物を活用しており、照明設備や空調設備は建築当時のものを継続して使用している。照明設備・空調設備ともに使用開始から19年が経過している。また、施設の一部のみを治療スペース・事務所として使用しているにも関わらず、照明設備の分散型制御ができないため、エネルギーを無駄に消費している。

アカデミーを通じた検討Action「CO2ふりーだむ計画」

基本的に使用するエネルギーは、電力と訪問治療を行う際の社用車のガソリンのため、①エネルギーの省力化、②電化促進を行うことで2030年度までには、「CO2実質排出量ゼロ」を達成できると推定。

2025年度に照明設備、2026年度に空調設備を省エネ効果の高い設備へと更新予定。省エネお助け隊も活用することで、更なる省エネ可能性も洗い出す。また、社用車についても、経営状況を見ながら電気自動車(EV)に更新予定。(設備投資時期を分散し、リスクヘッジ。)

会社名 合同会社BASE

所在地 佐賀県唐津市浜玉町浜崎798-1

設立年月日 令和7年(2024)年7月

代表者 小野 雄一

資本金 50万円

従業員数 5名(R6.12月時点)

主要事業

- 鍼灸・整体サービス(ふりーだむ鍼灸院)
- DX・シェアリングエコノミー事業
- デジタルコンサルタント事業

項目	2024	2025	2026	2027	2028	2029
省エネお助け隊による診断	▶					
照明設備更新		▶				
空調設備更新			▶			
社用車のEV化				▶		
再エネ由来電力への切替・クレジット購入					▶	▶

<「CO2ふりーだむ計画」のロードマップ>



<照明のLED化・分散型制御>



<空調設備の更新>

参加者の生声



小野 雄一さん

自社にとって今までなかった知見を得る機会になりました！自社の課題の洗い出しができたので、省エネルギー化や脱炭素を念頭に置いた経営を行います！



Green Transformation to Karatsu